

# 野外活動③日目

6月15日(木)

本日は野外活動3日目、最終日です。

昨日の疲れからか、今朝は起床時間前に誰も起きること無くみんな熟睡の様子。しかし定時にぼちり起床して、その15分後には身支度、帰宅準備、身辺整理ができていたのがJSJ男子児童生徒(おそらく女子も…)の凄い所。

朝食には昨夜作ったサンドウィッチとサラダ。キュウリ、ハム、ツナマヨ、エッグマヨ、スクランブルエッグ等々の具を自分でチョイスし、自分で作ったサンドウィッチ。中にはハラペーニョを挟んで悶絶する児童生徒も。最後の朝食時間を楽しく過ごすことができました。

スムーズに朝食、後片付け、バスへの荷物運びを終えると、最後の目的地「God's Window」へ。断崖絶壁から見る絶景にみんな息を呑みます。絶景を背にすると決めポーズを取らずにはられません。たくさんのモデルが誕生しました。また、「God's Window」ではお土産タイムも。南アフリカならではの土産を買うことができました。

その後はサイヤバッファローが見られることで有名なサービスエリア(ALZU)でそれぞれが好きな物をテイクアウトし、たくさんの動物を見ながら昼食をとりました。

帰路のバス内でもレク係を中心に、楽しみながら元気いっぱいにご過ごしていました。「私は誰でしょうゲーム」、「山手線ゲーム」と定番のゲームも盛り上がりましたが、やはり全員がずっと楽しんでいたのは「人狼ゲーム」。初めてこのゲームに参加した某M教諭は「めっちゃ面白いし、頭を使う！Uさんはおとなしいけど実は超賢い！！」と楽しそうでした。

旅程は全て順調で、当初の計画通りに全員が無事に元気にJSJに帰ってくることができました。帰校後は、多くの保護者の皆様が見守る中、運営班が中心となり「帰着式」が執り行われました。

日本では決して経験できない異学年(G5~G9)での2泊3日の学校宿泊行事。それぞれの学年や発達段階に応じた成長がいたるところで見られました。必ず今後の学校生活や南ア生活、日本に帰ってからのそれぞれの人生の糧となることでしょう。

また、今回は児童生徒と同室で教員も宿泊をしたことで、より一層家族に近い信頼関係を築くことができました。誰にとっても得るものしかなかった野外活動となりました。





